

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

有限会社栗原商事

グローバルな経営戦略で過剰米を有効活用



会社プロフィール

代表取締役 阿久津 順治

【事業内容】米穀集荷、肥料・農薬の販売

【所在地】須加 963-2

日本人の生活スタイルの変化などから年々米飯離れが進み、米の消費量が減少傾向となっています。そのような中、米農家が丹精込めて作った米を無駄にしないようにと国外への輸出ルートを確認した有限会社栗原商事を紹介します。

平成10年9月、現・代表取締役の阿久津順治さんが商社を脱サラし、先代で現・会長の栗原近夫さんと共に、現在の場所まで創業。県内の米生産農家から米を集荷し、日本全国の米卸業者へ販売するいわば生産者と卸業者との橋渡しの役割を担い、生産者の経営基盤を支えてきました。

しかし、食生活の多様化により主食の選択肢が増え、麺類、パンなどが家庭で多く食されるようになっています。こうした状況に危機感を覚えた阿久津社長は「進むべき農業経営の方向性を確立するとともに、農業収入の安定化を図ることで、やりがいのある農業の創出ができれば、これからの農業を担う若い生産者を増やすことができる。そういう環境を整えることで、日本の食料自給率確保を目指したい」と、平成27年から経営方針の転換を図りました。そのよう

な折、農林水産省が過剰米対策として飼料用米や国外へ輸出米を積極的に出荷させる「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」を発足。同社はいち早くこのプロジェクトに参加し、戦略的輸出として米生産農家の経営基盤を安定させることに尽力しました。この取り組みにより平成30年、埼玉県産「彩のかがやき」がロシアへ70トン出荷できました。当初、ロシアの人々に日本米が受け入れられるか不安でしたが、ヘルシーブームに後押しされ、おにぎりや寿司などの日本食が人気を博したことに伴い、スーパーマーケットや百貨店を取り扱われ、令和2年の出荷量は150トンと大幅に増加しました。

「これからも米生産農家と国のプロジェクトをマッチングさせ、国内はもとより、現在輸出しているロシアをはじめ、今後はさらにEU圏などへの輸出を視野に入れていきたいです。市内の農業の活性化とこれからの農業を担う事業者の生活基盤を安定させるべく、一層努力しグローバルな経営戦略で世界へ輸出を手掛けていきたいと思っています」と力強く話す阿久津さん。同社の米生産農家の未来を思う「気持ちに多くの農家から大きな期待が寄せられています。」

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

私の作品

- 俳句**
- 須加 須加かつ江
八十路坂二人で越えて月見酒
 - 富士見町 鈴木スイ子
花瓶より零れて跳ねて式部の実
 - 埼玉 荻原 増夫
にぎやかに葉の自慢敬老日
 - 佐間 西岡 良男
父母眠る墓までつづく彼岸花
 - 荒木 野口 利夫
舟頭の節くれ十指紅葉川
 - 忍 伊藤 誠一
ストレスを月に託してより家路
 - 富士見町 江利川敏夫
父の日と気付かぬままの夕餉かな
 - 持田 荻原 義久
新蕎麦の香につつまれし店主かな
 - 旭町 大川 恵子
赤とんぼ翅を休めしランドセル
 - 渡柳 川田 静江
寝つかれず夜半のリハビリ虫の声
 - 棚田町 深野美智子
秋彼岸畳に残るベッド跡
 - 樋上 吉澤とし子
秋場所の勝者の涙郷の笑み
 - 矢場 鈴木かつの
街道に子育て観音虫の宿
 - 忍 大澤 由子
開幕のベル爽やかに舞台袖
 - 南河原 今村 文女
コンビニの煌々として虫の闇
 - 持田 池田 脩
稲妻の一閃窓を浮き立たす
 - 持田 伊藤 洋子
夜もすがら孤愁慰さむちろかな
 - 長野 平野 祝江
初孫の産声まだか秋日和
 - (三沢 一水 選)
- 俳句応募方法 一人3句以内。毎月末日までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

図書館だより

開館時間 午前9時～午後7時
休館日 11月2日(月)・4日(水)・9日(月)・16日(月)・
24日(火)・30日(月)、12月1日(火)・7日(月)
※休館中の圖書の返却はブックポストをご利用ください。

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770 ホームページ:https://lib-gyoda-saitama.jp

新型コロナウイルス感染症の状況により、図書館サービスやイベントを変更する場合があります。詳細は図書館ホームページをご覧ください。

大人のための朗読会(第18回)を開催します

絵本や小説など多様なジャンルの作品を、質の高い音にして皆さんにお届けする朗読会を今年も開催します。黙読とは一味異なる言葉のリズムを、ぜひお楽しみください。

▶日時 11月17日(火)午後1時30分～4時

▶場所 「みらい」文化ホール

▶内容

- ・「老人性せっかち症」佐藤愛子/著 海竜社
- ・「愛されすぎた白鳥」小川洋子/著、樋上公実子/イラスト ホーム社
- ・「お客さまはお月さま」安東みきえ/作、下和田サチヨ/絵 理論社

その他、角田光代、近藤史恵、金子みすず、三浦哲郎など6作品の朗読を実施します。

▶定員 70人程度

▶協力 行田朗読の会

▶申し込み 図書館などで配布している申込書に必要事項を記入し提出または電話で図書館

読み聞かせボランティア養成講座(初級)

ボランティアとして読み聞かせの経験のない方、もしくは経験の浅い方のために、基礎的技術や知識を学ぶ講座です。

▶日時 12月2日(水)・16日(水)・25日(金)午前10時～正午(全3回、25日は実践としておはなし会に出演)

▶場所 中央公民館第2学習室(25日のおはなし会は中央公民館第1学習室)

▶講師 小野寺るり子さん(おはなしボランティア指導者)

▶対象 次の全てに該当する方

- ・ボランティア活動希望の方
- ・3日間講座とイベントに参加できる方
- ・読み聞かせを学びたい、知りたい方

▶定員 3人程度(先着順)

▶申し込み 図書館などで配布している申込書に必要事項を記入し提出または電話で図書館

雑誌を販売します

図書館に蔵書していた保存期限切れの雑誌について、一部販売します。

▶日時 11月7日(土)・8日(日)午前10時～午後4時

▶場所 「みらい」談話コーナー

▶価格 一冊50円

定例イベント※図書館で楽しいひとときを※

イベント名	日時	内容	対象	協力団体など	場所
ボランティアによるおはなし会	11月7日(土)午後2時	絵本や紙芝居など	幼児・小学生(定員10人)	おはなしの会	図書館おはなしのへや
	11月14日(土)午後2時				
	11月15日(日)午後2時				
	11月28日(土)午前11時				
	12月5日(土)午後2時				
12月12日(土)午後2時	おはなしポケット				
たまごおはなし会	11月11日(水)・18日(水)、12月9日(水)・16日(水) 午前10時30分～11時	絵本、手遊び、パネルシアターなど	0歳～3歳児ぐらい(定員6組)	図書館職員	図書館おはなしのへや
ぴよぴよおはなし会	11月1日(日)、12月6日(日) 午後2時	絵本、紙芝居、素話(ストーリーテリング)など	4歳児ぐらい～小学生(定員10人)	図書館職員	図書館おはなしのへや
こっこおはなし会	11月21日(土)午後2時	絵本の読み聞かせ、工作、折り紙など	小学生(定員10人)	図書館職員	図書館おはなしのへや
英語であそぼう	11月15日(日)午前11時	英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ	幼児・小学生(定員10人)	レガスピキャセリン マナロさん	図書館おはなしのへや
子ども映画会	11月8日(日) 午後2時	ぴったんこねこごかな3		図書館職員	図書館おはなしのへや

図書館シネマ倶楽部	11月22日(日)午後1時30分(午後1時10分開場)	カミングアウト(邦画:98分) 監督:犬童一利	大人を対象としていますが、どなたでも鑑賞できます(定員28人、要予約)	図書館職員	「みらい」映像ホール
-----------	-----------------------------	-------------------------	-------------------------------------	-------	------------